

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】 第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】 平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】 特開 2005-201812(P2005-201812A)  
 【公開日】 平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)  
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-029  
 【出願番号】 特願 2004-9544(P2004-9544)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 N 33/53  
 C 1 2 M 1/00  
 C 1 2 N 15/09  
 C 1 2 Q 1/68  
 G 0 1 N 21/78  
 G 0 1 N 37/00

【F I】

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| G 0 1 N | 33/53 | M     |
| G 0 1 N | 33/53 | D     |
| C 1 2 M | 1/00  | A     |
| C 1 2 Q | 1/68  | A     |
| G 0 1 N | 21/78 | C     |
| G 0 1 N | 37/00 | 1 0 2 |
| C 1 2 N | 15/00 | F     |

【手続補正書】  
 【提出日】 平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】 請求項 6  
 【補正方法】 変更  
 【補正の内容】  
 【請求項 6】

光放出機能を有している結合基を構成部分としている請求項 1 記載の基準バイオ分子配列素子上に配列されている基準バイオ分子に対し、標的バイオ分子を投与し、基準バイオ分子と標的バイオ分子との結合による発光の有無又は程度によって、前記基準バイオ分子と相補結合又は親和結合を行い得るバイオ分子の存否を検出することによるバイオ分子におけるハイブリダイゼーションの確認システム。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】 請求項 8  
 【補正方法】 変更  
 【補正の内容】  
 【請求項 8】

光消失機能を有している結合基を構成部分としている請求項 1 記載の基準バイオ分子配列素子上に配列されている基準バイオ分子に対し、光放出機能を有している結合基を端部における構成部分としたことによる標的バイオ分子を投与し、基準バイオ分子と標的バイオ分子との結合による光の消失の有無又は程度によって、前記基準バイオ分子と相補結合又は親和結合を行い得るバイオ分子の存否を検出することによるバイオ分子におけるハイブリダイゼーションの確認システム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

光放出機能を有する結合基を構成部分としている請求項 1 記載の基準バイオ分子配列素子上に配列されている基準バイオ分子に対し、光消失機能を有している結合基を端部における構成部分としたことによる標的バイオ分子を投与し、基準バイオ分子と標的バイオ分子との結合による光の消失の有無又は程度によって前記基準バイオ分子と相補結合又は親和結合を行い得るバイオ分子の存否を検出することによるバイオ分子におけるハイブリダイゼーションの確認システム。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

実施例 1 においては、ハイブリダイゼーションの確認システムとして、光放出機能を有している結合基を構成部分としている本発明の基準バイオ分子配列素子 2 上に配列されている基準バイオ分子に対し、標的バイオ分子を投与し、基準バイオ分子と標的バイオ分子との結合による発光の有無又は程度によって、前記基準バイオ分子と相補結合又は親和結合を行い得るバイオ分子の存否を検出している。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

実施例 2 においては、ハイブリダイゼーションの確認システムとして、光消失機能を有している結合基を構成部分としている本発明の基準バイオ分子配列素子 2 上に配列されている基準バイオ分子に対し、光放出機能を有している結合基を端部における構成部分としたことによる標的バイオ分子を投与し、基準バイオ分子と標的バイオ分子との結合による光の消失の有無又は程度によって、前記基準バイオ分子と相補結合又は親和結合を行い得るバイオ分子の存否を検出している。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

実施例 3 においては、ハイブリダイゼーションの確認システムとして、光放出機能を有する結合基を構成部分としている本発明の基準バイオ分子配列素子 2 上に配列されている基準バイオ分子に対し、光消失機能を有している結合基を端部における構成部分としたことによる標的バイオ分子を投与し、基準バイオ分子と標的バイオ分子との結合による光の消失の有無又は程度によって前記基準バイオ分子と相補結合又は親和結合を行い得るバイオ分子の存否を検出している。